

2015年10月29日

## 早期がんを切除する手技などで使用する医療用処置具 粘膜へのスムーズな穿刺をサポートする内視鏡用注射針を発売 細い針径 26G を新たにラインアップ

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、医療事業・消化器科の新製品として、早期がんを切除する手技などで用いるディスポーザブル注射針「NeedleMaster(ニードルマスター)<sup>※1</sup>」を、2015年11月2日から日本国内で発売します。

今回発売する「NeedleMaster」は、胃や食道、大腸などの消化管の粘膜層にとどまる早期がんを、内視鏡を用いて切除する手技である「内視鏡的粘膜切除術」(以下、「EMR<sup>※2</sup>」)や「内視鏡的粘膜下層剥離術」(以下、「ESD<sup>※3</sup>」)などで使用される処置具製品です。平坦な(隆起していない)病変部を切除する場合、粘膜下層に生理食塩水などを注入して病変部を浮き上がらせ、切除を行います。本製品は、液を注入するための注射針で、上記手技の中で重要な役割を担います。従来品<sup>※4</sup>から針先形状を改良して切れ味の向上をはかり、粘膜へのスムーズな穿刺をサポート。また、従来品と同じ外径のまま、広い内径を確保し、かつ、握りやすいハンドルデザインを採用しました。送液性の向上が期待でき、手技のストレス軽減に貢献します。

なお、26G(ゲージ)の細い針を新しくラインアップに追加しました。穿刺孔を最小限に抑えて、低侵襲な手技をサポートします。

※1 本製品の愛称。販売名は以下「発売の概要(国内)」を参照

※2 「EMR」は Endoscopic Mucosal Resection の略。早期の胃がんや大腸がんなどの病変組織と正常組織の間に、生理食塩水を注射して膨らませ、スネアで病変を切り取る手技

※3 「ESD」は Endoscopic Submucosal Dissection の略。粘膜層にとどまる早期がんなどの治療のために、粘膜下層を切開・剥離する手技のこと

※4 「ディスポーザブル注射針 DNM (NM-400U-0425 など)」(2008年10月発売)

### ●発売の概要(国内)

販売名	発売時期
ディスポーザブル注射針 NM600/610 (愛称:NeedleMaster:ニードルマスター)	2015年11月2日

### ●主な特長

1. 針先形状を改良し、スムーズな穿刺をサポート
2. 針の内腔を拡張し、かつ、ハンドル形状を改良したことで、送液性向上に貢献
3. より低侵襲な手技をサポートする針径 26G を新たにラインアップ



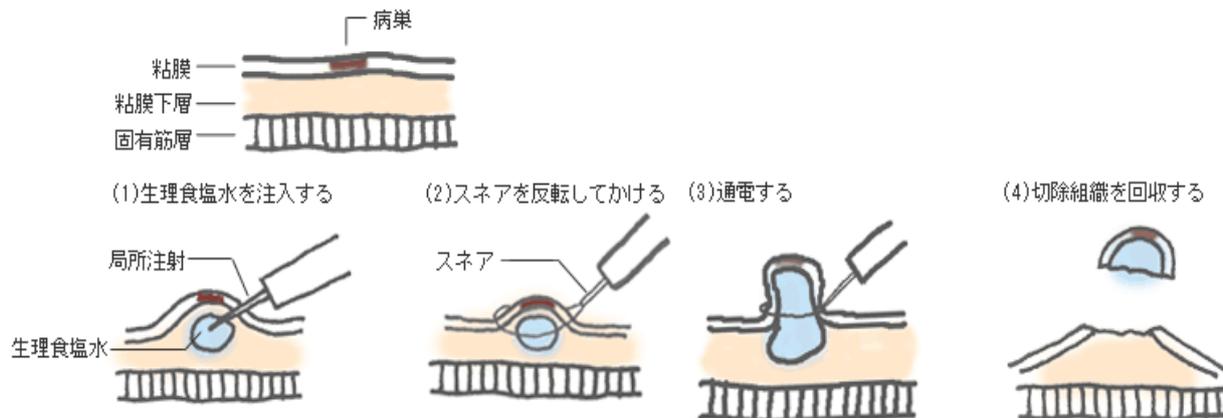
「NeedleMaster」先端部



「NeedleMaster」全体

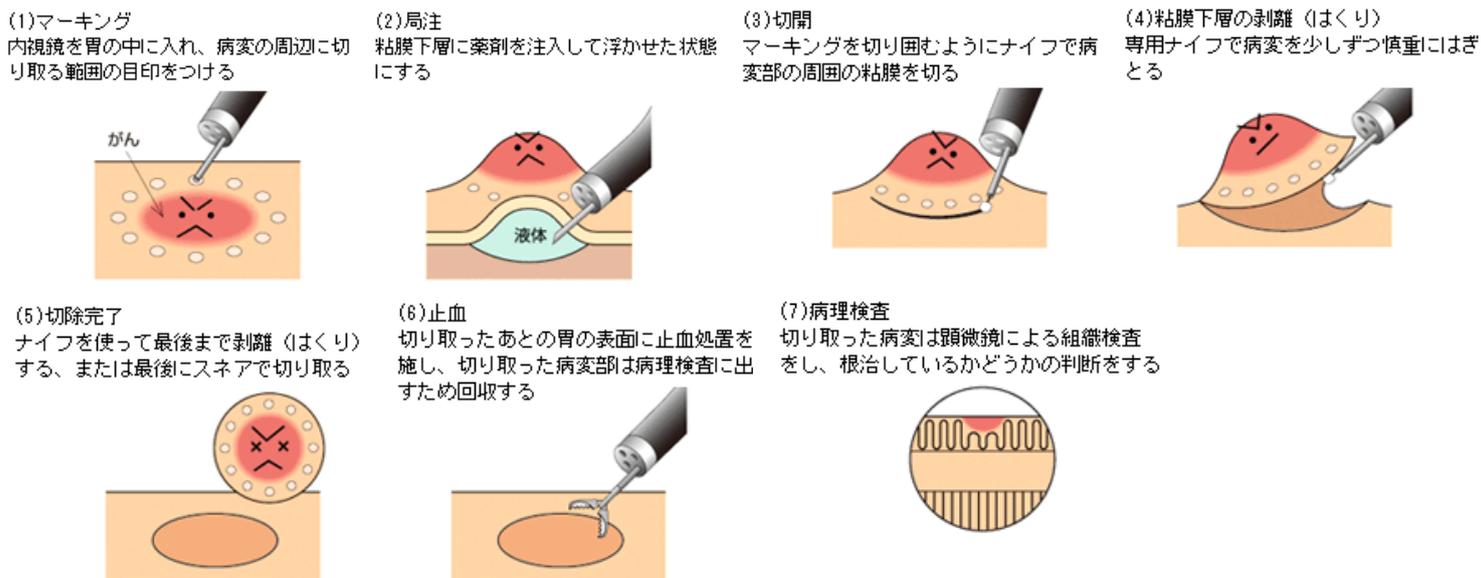
当社は、戦略的事業拡大に向けグループの再編を行い、2015年4月1日より、オリンパスメディカルシステムズ(株)の機能は会社分割により一部を除いてオリンパス(株)に承継されました。医療事業は「消化器科」、「外科」、「泌尿器科婦人科」、「耳鼻科」、「医療サービス」の5事業ユニットで構成されており、本製品は「消化器科」の製品です。なお、本製品の製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ(株)です。

● (参考) EMR の流れ



おなかの健康ドットコム ([http://www.onaka-kenko.com/endoscopic-therapy/ep\\_06.html](http://www.onaka-kenko.com/endoscopic-therapy/ep_06.html)) より

● (参考) ESD の流れ



おなかの健康ドットコム ([http://www.onaka-kenko.com/endoscopic-therapy/ep\\_08.html](http://www.onaka-kenko.com/endoscopic-therapy/ep_08.html)) より

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。